



モジュール更新ツール補足資料

概要説明

モジュール更新ツールのタイムアウト設定値の変更とインストール時の補足資料です。

ご注意

- このソフトウェアおよびマニュアルの一部または全部を無断で使用、複製することはできません。
- このソフトウェアおよびマニュアルは、本製品の使用許諾契約書のもとでのみ使用することができます。
- このソフトウェアおよびマニュアルを運用した結果の影響については、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- このソフトウェアの仕様、およびマニュアルに記載されている事柄は、将来予告なしに変更することがあります。
- このマニュアルの著作権はカシオ計算機株式会社に帰属します。
- 本書中に含まれている画面表示は、実際の画面とは若干異なる場合があります。予めご了承ください。

© 2013 カシオ計算機株式会社

Microsoft, MS, ActiveSync, Active Desktop, Outlook, Windows, Windows NT, および Windows ロゴは、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。Microsoft 社の製品は、OEM 各社に、Microsoft Corporation の 100%出資子会社である Microsoft Licensing, Inc.によりライセンス供与されています。

變更履歷

[illegible]

目次

1. はじめに	1
2. タイムアウト値変更方法.....	2
3. バージョンアップ方法.....	3

1. はじめに

このマニュアルはモジュール更新ツールを利用した以下の機種を対象として記述されています。

端末ハードウェア

HT:DT-5100／5200／DT-X7／DT-5300(CE)／DT-5300(WM)／IT-9000(CE)／IT-9000(WM)

PC:IBM PC／AT 互換機

※ WindowsMobile では、実行モジュール(CAB,EXE,DLL 等)に適切な署名が付与されている必要があります。)

OS

HT:Windows CE.NET 4.1 以降※

PC:Windows 2000 Pro+SP4 以降／Windows XP Pro+SP2 以降

※ DT-5100 の場合、「デバイス抽象化ライブラリ」および「モバイルアプリケーション部品」をインストールしている必要があります。

サーバOS およびスペック

OS: Windows 2000 Professional／Windows 2000 Server／Windows Server 2003／Windows Server 2008/Windows 7

Web サーバ:IIS 5.0 ソフトウェア

FTP サーバ:端末から接続できるFTP サーバ

LMWIN:Ver6.10 以降

更新伝送経路

HTTP／FTP／共有フォルダ(SHARE)

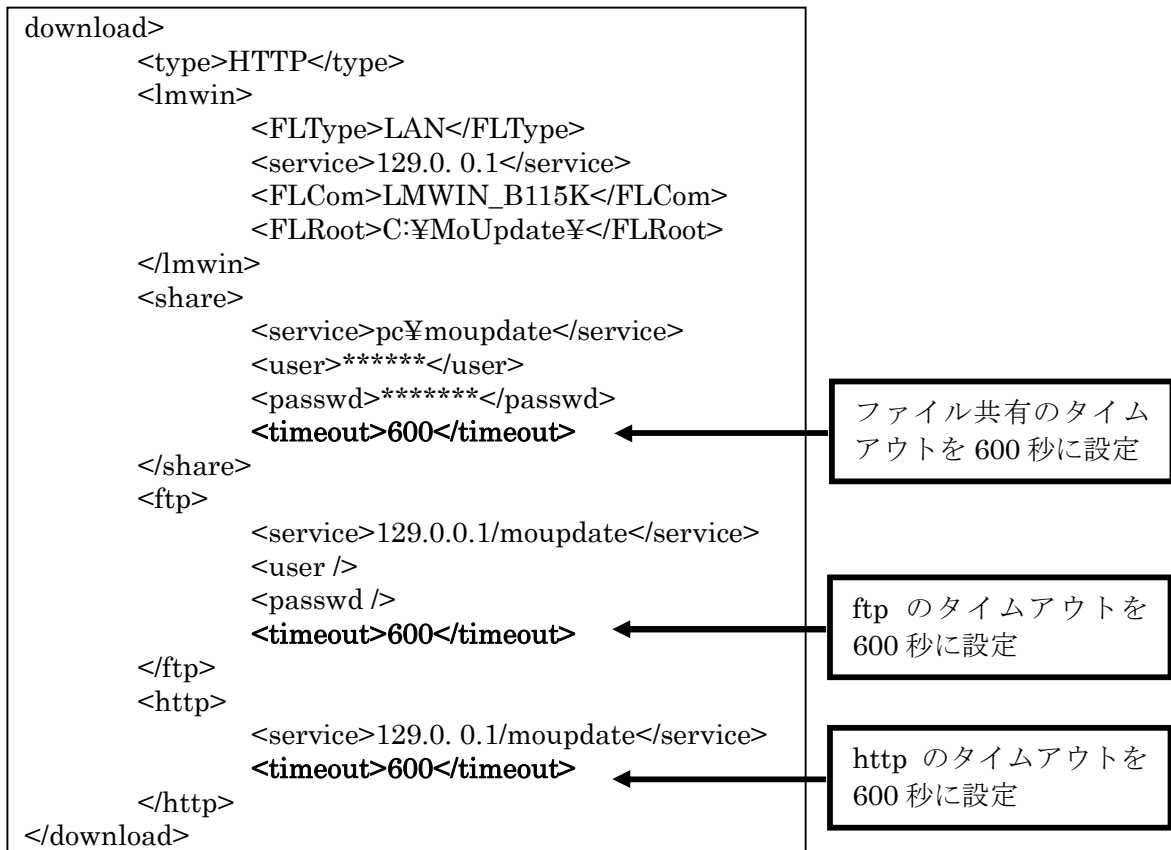
モジュール更新ツールに関しては、モバイルモジュール更新ツールのマニュアルをご参照ください。

2. タイムアウト値変更方法

タイムアウト監視をしているFTP/HTTP/共有フォルダ(SHARE)の各プロトコルにおいて、MoConfig.xml ファイルでタイムアウト時間の設定を可能とします。

設定がない場合はデフォルトである3 分でのタイムアウトとなります。

タイムアウト時間を変更する場合は MoConfig.xml の下記部分を変更してください。



書式フォーマット

<timeout>秒数</timeout>

秒数指定可能範囲 1～3600

※範囲外を指定した場合や指定のない場合は 180 秒となります

※LMWIN 接続の場合、LMWIN のタイムアウト設定に従います

3. バージョンアップ方法

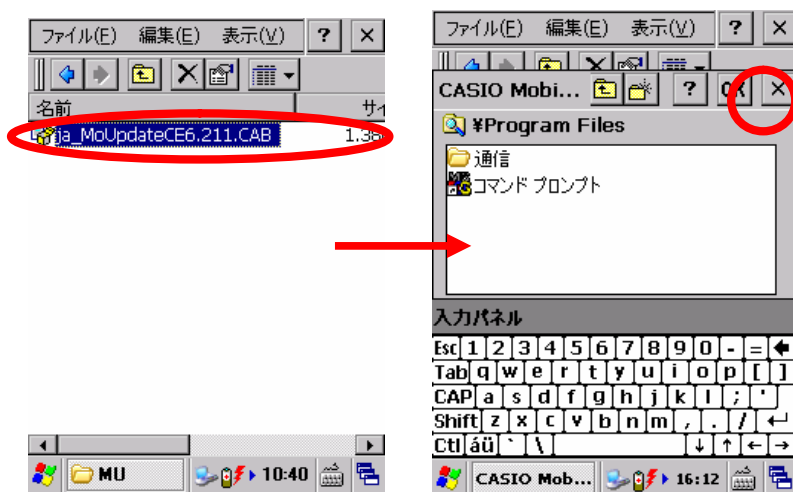
・ 3-1 Ver2.11 以降のバージョンアップ方法

・ CE OS&Windows Mobile OS共通

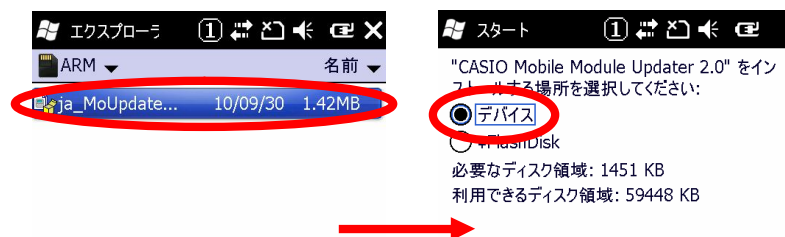
モジュール更新ツールがインストールされていない場合は自動的にインストールが行われます。
以前のバージョンのモジュール更新ツールがインストールされている場合も VerUP インストール
されます。

【CAB ファイル】

対象 CAB ファイルを端末に転送し、ダブルタップにて端末にインストールしてください。
または、対象 CAB ファイルと Setup.exe を“¥FlashDisk¥CE¥ARM” フォルダにコピーするこ
とで、リセット後に自動インストールすることができます。



CE OS



上へ A メニュー

インストール A キャンセル

Windows Mobile OS

【モジュール更新を利用する場合】
カタログファイルに以下の定義を追加してください。

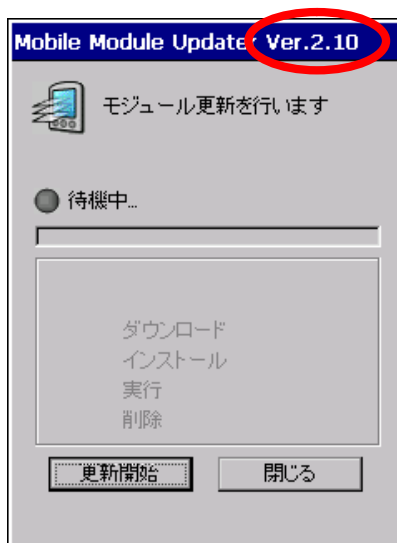
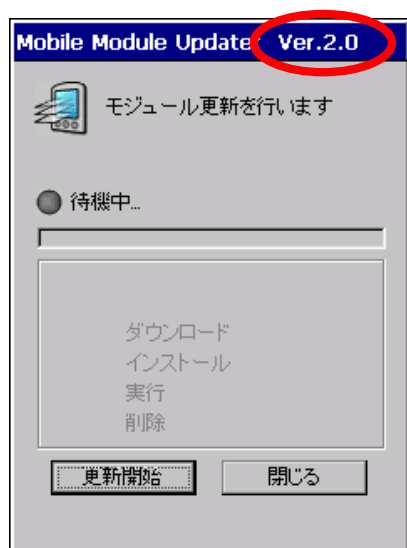
```
<list>
  <title disp="no">ja_MoUpdateCE6</title>
  <type>CAB</type>
  <module attr="r">ja_MoUpdateCE6.214.CAB</module>
  <version>2.X.X.0</version>
  <comparison>VERSIONUP</comparison>
  <destination>¥FlashDisk¥CE¥ARM</destination>
  <copytowork>no</copytowork>
  <execution>no</execution>
  <parameter />
  <deleted>no</deleted>
  <reset>yes</reset>
  <checksum />
</list>
```

※モジュール名・Ver は実際の環境に合わせてください。

・ 3-2 Ver2. 10 のバージョンアップ方法

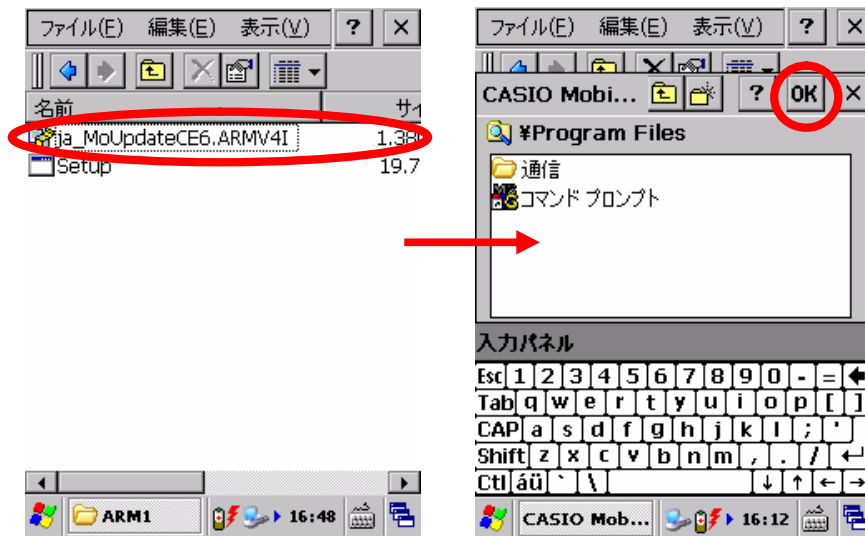
・ CE OSの場合

モジュール更新ツールがインストールされていない場合は自動的にインストールが行われますが、以前のバージョンのモジュール更新ツールがインストールされている場合、リセットを行っても自動的にバージョンアップインストールが行われません。以下の手順でモジュール更新ツールのバージョンアップを行ってください。



モジュール更新ツールを起動して Ver 情報を確認します。
Ver が 2.00 の場合は以下の操作が必要です。

モジュール更新ツールをインストールしたフォルダを開きます。
インストールした ja_MoUpdate.ARMV4I.CAB ・ ja_MoUpdateCE6.ARMV4I.CAB
のいずれかをダブルタップします。
ダブルタップすると自動的に展開が始まり、インストール先の確認画面が表示され
ます。OK ボタンをタップします。
インストールが終了後に、モジュール更新ツールを起動して Ver 情報を確認します。
Ver が 2.10 以上であれば完了です。



・ Windows Mobile OSの場合

モジュール更新ツールがインストールされていない場合は自動的にインストールが行われますが、以前のバージョンのモジュール更新ツールがインストールされている場合、リセットを行っても自動的にバージョンアップインストールが行われません。以下の手順でモジュール更新ツールのバージョンアップを行ってください。

タスクマネージャーよりモジュール更新ツールの Ver 情報を確認します。

- ① モジュール更新ツールを起動します。
- ② スタートメニューを表示させます。
- ③ タスクマネージャーを起動します。
- ④ アプリケーションの表示を最大にします。
- ⑤ Ver が 2.00 の場合は以下の操作が必要です。



タスクの終了 あ メニュー

タスクの終了 あ メニュー

モジュール更新ツールをインストールしたフォルダを開きます。
インストールした **ja_MoUpdateWM.ARMV4I.CAB** をダブルタップします。
ダブルタップすると自動的に展開が始まり、更新インストールの確認とインストール先の確認画面が表示されます。インストール先をデバイスを選択しインストールを行います。

インストールが終了後に、タスクマネージャーよりモジュール更新ツールの Ver 情報を確認します。Ver が 2.10 以上であれば完了です。



カシオ計算機お問い合わせ窓口

※平成 24 年 9 月現在

製品に関する最新情報

●法人向け製品サイト

<http://casio.jp/business/>

●製品サポートサイト (カシオペア・ ハンディターミナル)

<http://casio.jp/support/ht/>

製品の取扱い方法のお問い合わせ

●情報機器コールセンター



0570-022066

市内通話料金でご利用いただけます。

携帯電話・PHS 等をご利用の場合、**048-233-7241**

カシオ計算機株式会社

〒151-8543 東京都渋谷区本町 1-6-2

TEL 03-5334-4638 (代)